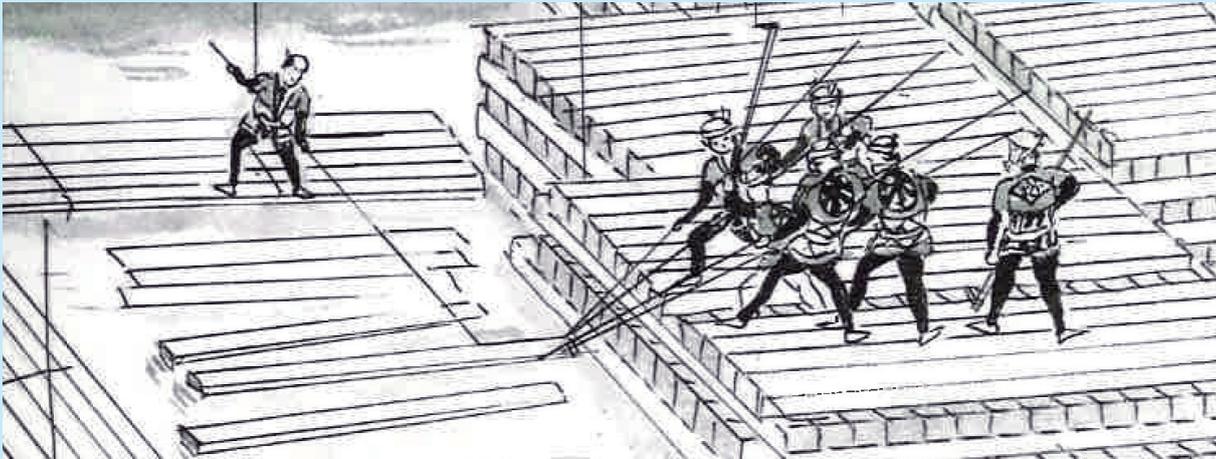


木を最良の姿に引き出す幻の技

—水中貯木による乾燥の不思議—



伝
技
塾

石井赤太郎画（部分）：木場で川並を生業とし当時の絵を描き残した。（深川タウン誌より 林榮次郎氏所蔵）

重機もトラックもなかった時代に、先人達は木を筏に組み河川で運び、掘の水につけて貯木していた。かつての木場にその光景をみることができた。木を乾かそうとしているのに、あえて水につけていたのはなぜだったのか。今や幻となりつつある水中貯木を紐解いていくと、心材の乾燥を早め、割れや反りの少ない、色つやの美しい木材にするためであったことがわかってきた。

第1講 10月18日（金）

はじめに『伝統技法研究会の建物調査から』 伝統技法研究会

『暮らしにいきづいてきた木の文化』

講師：須藤 護

（「木の文化の形成」著者

龍谷大学国際文化学部教授）

第2講 11月1日（金）

はじめに『水とともに生きてきた木場』 伝統技法研究会

『木の乾燥と水中乾燥を科学する』

講師：定成 政憲

（職業能力開発総合大学校 准教授

NPO法人 甲賀・森と水の会 理事長）

第3講 12月6日（金）

『職人の技から見た木の乾燥』

講師：有賀 恵一

（家具・建具職 有賀建具店主宰）

橋本 英夫

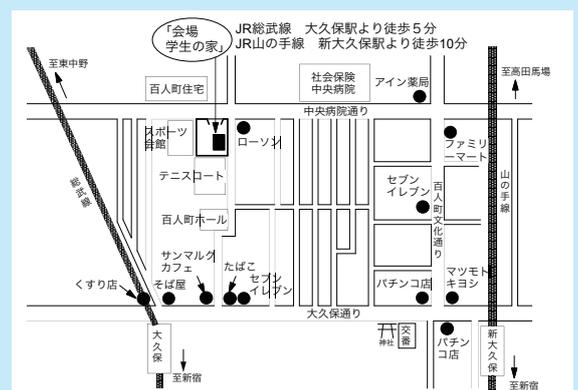
（大工職 職業能力開発短期大学校

東京建築カレッジ講師）

見学会 2月頃予定 参加費 2,000円 ※定員15名 全講座を受講した方を優先します

木場銘木店「福清」の茶室（立礼、小間、広間の三席）見学会 お話：「福清」林 清兵衛会長

- ・ 会 場：学生の家（JR 総武線大久保駅北口 徒歩5分）
新宿区百人町 2-23-27 TEL03-3362-2271
- ・ 時 間：18:30～21:00（開場18:15）
- ・ 定 員：各90名（要申込）
- ・ 参加費：各回2,000円（3回通5,000円）
伝技会員：1,500円（3回通4,000円）・学生：500円
- ・ 申 込：伝統技法研究会（大澤）FAX またはメール
〒169-0074 新宿区北新宿 1-4-9-303
TEL 03-3367-1165 FAX 03-3367-1175
メー ル：dengi@kta.biglobe.ne.jp



お断り：会場「学生の家」の座席には机がありません